

平成 31 年度 県立瀬谷養護学校不祥事ゼロプログラム年間検証について

取組み課題	目標	年間検証と課題
1	<p>○法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）</p>	<p>・勤務時間の内外を問わず社会人・公務員として自覚を持ち、法令を遵守し、公正に職務を遂行する。</p> <p>通知文書の掲示や朝の打合せにおける注意喚起により、サービス遂行の周知徹底を行った。不祥事防止会議（5月）で職員行動指針の確認とサービスに関する自己チェックを実施した。課題は、全体の奉仕者であることを常に意識することである。</p>
2	<p>○個人情報の管理、取り扱い、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）</p>	<p>・個人情報について理解を深め、個人情報の保護かつ安全な運用を目指す。</p> <p>不祥事防止会議（2月）で小学部が誰にでもミスが起り得るという注意喚起を行った。情報担当は「情報管理OJT」を発行し意識向上を図り、各学部ではヒヤリハットの事例を共有し、意識を高めた。課題はミスは起り得ることを念頭に置いて、ダブルチェックの徹底を図ることである。</p>
3	<p>○体罰、不適切な指導の防止</p>	<p>・児童生徒の人権を尊重し、障害や行動特性に応じた適切な指導を行う。</p> <p>本校担当者による人権研修を実施した。（7月）教育推進Gは障害や行動特性に応じた適切な指導についての研修（7・8月）を実施した。不祥事防止会議（12月）で南分教室から、体罰防止や人権に配慮した指導について日常の指導の振り返りを行い、分教室全体として共通確認をする取組について報告した。課題は、学校全体で児童生徒の人権を尊重したかわりを徹底し、取り組んでいくことである。</p>
4	<p>○わいせつ・セクハラ行為の防止</p>	<p>・児童生徒の意思や尊厳を守り、年齢や性別にふさわしい対応・指導を行う。</p> <p>・職員間あるいは日常生活において、他者の人格を尊重し、品位ある言動・行動を心がける。</p> <p>外部講師を招き研修を実施した。（8月）講師の講話を聴いた後、グループ協議を行い理解を深めた。不祥事防止会議（10月）で高等部では、わいせつセクハラ防止につながる取組みについて報告した。課題は、互いを尊重した風通しのよい職場環境づくりに取り組むことである。</p>
5	<p>○入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止</p>	<p>・個別教育計画、進路、実習関係書類作成時の管理と処理を適切に行う。</p> <p>不祥事防止会議（9月）で東分教室が日ごろの取組みを報告した。分教室という環境の中で、個人情報も含めた文書を本校との間でやり取りする必要がある。将来的には電子化も含み、安全なシステム構築が課題である。</p>

6	○会計事務等の適正執行、適切な経理処理	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な会計処理を実行する。 	<p>4月当初に総務・私費会計グループによる「私費会計に関する研修会」を実施した。備品の定期点検を実施した。</p> <p>さらに適正な会計処理を遂行するために、迅速な執行、領収書の点検管理が課題である。</p>
7	○業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談の重要性を理解し実行する。 ・各自が時間管理、スケジュール管理に努める。 ・業務や会議の効率化を図り、協力体制づくりをすすめる。 ・各自が学校全体を考え、主体的に業務に取り組む。 	<p>不祥事防止会議（6月）で連携支援グループが日ごろ行っている個人情報の管理システムについて報告した。</p> <p>「働き方改革」に向け、退勤時刻のアナウンスや業務終了の呼びかけを行った。また、冬季休業中に「働き方改革ワークショップ」を実施し、より働きやすい職場に向けて具体的なアイデアを出し合い、CSM（職員会議）のペーパーレス化の試行など取組を進めた。</p> <p>課題は、意識改革を進め、学校全体で取り組むことができるような、さらなる業務のスリム化と進行管理、時間管理である。</p>
8	○交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の発生を未然に防止する。 	<p>不祥事防止会議（11月）において、中学部は交通事故防止（特に酒酔い・酒気帯び運転防止）の注意喚起の発表を行った。</p> <p>課題は、お互いに声を掛け合い、「しない・させない」こと、急いでいる時こそ気持ちの余裕を持つということである。</p>
9	○適切な休暇取得	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的に休暇を取得することにより、心身の健康を保ち、ミスが減らし事故を未然に防止する。 	<p>夏季休業前に、計画的な休暇取得と手続きについて教頭が説明をした。課題は、休暇の要件の把握、休暇を取りやすい環境づくりである。</p>
10	○不祥事ゼロの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員との個別面談を通じて注意喚起を行い、不祥事を未然に防止する。 	<p>管理職との個人面談で、他人事ではないことを各自再認識し、事故防止の意識さらに高めた。また、不祥事防止資料保存ファイルを手元に置き、個々人の意識を高めた。さらにファイルの活用を進め、未然防止に繋げていきたい。</p> <p>小さなミスでも繰り返さないこと、組織としてミスを起こさないことの意識づけが課題である。</p>

○平成31年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和2年度に取り組むべき課題（校長意見）

年間計画通り実施し、目標を達成することができた。不祥事防止会議では、教員自身が講師となり、自らの問題意識を持って不祥事防止に取り組んだ。外部講師の方による研修を行い、さらに意識を高めた。学校で起きている不祥事について「自分事」としてとらえ、不祥事未然防止の意識をより醸成させることが課題である。セクハラ・体罰ゼロの徹底に向け、引き続き、基本的な考え方である「人権尊重」について繰り返し扱っていく。